

拠点型タクシー移動支援事業の今後について

第21回 四條畷市地域公共交通会議(令和8年7月27日)

これまでの経緯

- ◆ ～令和元年度:コミュニティバスの運行(西部路線)
西部路線の乗客の少なさから、運行の効率化が課題。
- ◆ 令和2年度～令和5年度9月:デマンドタクシーの実証運行
小型車両化及びデマンド型の予約運行へ転換。
- ◆ **令和5年度10月～:拠点型タクシー移動支援事業(おでかけサポートタクシー)の実証運行中**
デマンドタクシーの運行事業者から事業継続が困難との報告を受けて、タクシー車両を活用した移動支援に転換。

制度概要

日常生活で一人で外出することに不安・抵抗を感じている方に対して、自宅から指定する4か所までの区間のタクシー料金を市が一部負担することで、抵抗なく自由に外出ができるよう支援する制度。

- ◆ 対象者・・・75歳以上の方、65歳以上の運転免許返納者、妊産婦、障がい者
- ◆ 利用料金・・・西部地域:350円、逢阪地域:470円
- ◆ 拠点箇所・・・自宅⇄市役所、市民総合センター、四条畷駅、忍ヶ丘駅

※駅については、国道163号以北在住者は「忍ヶ丘駅」のみ、以南在住者は「四条畷駅」のみ利用可能

拠点型タクシー移動支援事業の今後について

第21回 四條畷市地域公共交通会議(令和8年7月27日)

実証運行の評価・検証

- 令和8年3月に策定した「第2次四條畷市地域公共交通計画」において、「おでかけサポートタクシー(実証運行)の事業評価と役割分担の整理」を掲げており、令和8年9月末をもって、本制度の実証運行が3年の節目を迎えることから、これまでの運行実績を評価・検証を進めてまいります。

【主な利用実態】 ※令和8年3月末時点 延べ登録者数792人

- 登録者の約86%を75歳以上が占めているなか、延べ登録者の約4割(41.4%)が実際にサービスを利用しています。
- 週1回以上利用する「高頻度利用者」は、全登録者のわずか3.0%(24人)となっていますが、全体の利用回数の約半数(45.9%)を占めています。

今後のあり方検討

- 会員アンケート結果、ならびに皆様から寄せられたご意見・ご要望を踏まえ、現制度の今後のあり方を検討するとともに、「公共交通」と「移動支援」の役割分担の整理を進めてまいります。

【主なアンケート結果】 ※令和7年1月実施時点:配布数428人 回答数285人 回答率66.6%

- 外出の主目的は「通院(約6割)」や「買い物(約4割)」に集中している一方、利用しない理由の最多(約47%)は「目的地の近くに拠点がなくないこと」となっています。
- 「家族や介助者の同乗」を求める声が約5割(妊産婦では約8割)に上り、一人での移動に不安を抱える層の切実な要望が浮き彫りになっています。

客観的なデータと住民ニーズを踏まえ、「公共交通」と「移動支援」のあり方について、庁内で検討を深めてまいります。

次回、第22回地域公共交通会議におきまして、改めて整理した検討内容と進捗状況をご報告する予定です。